

『PCA 固定資産 hyper』

Ver.1.0 Rev.5.00 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KDH210331

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。
操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

《全体》

◇資産絞り込み

配賦先マスターで資産を絞り込みできるようになりました。

《前準備》

◇固定資産科目の登録

登録済の固定資産科目の資産区分を変更できるようになりました。

《台帳・一覧、予定額一覧》

◇固定資産台帳(一)

条件指示画面で減損グループを条件指定できるようになりました。

◇月次償却額配賦一覧、月次支払リース料配賦一覧、償却予定額一覧、支払リース料予定額配賦一覧

指定した配賦先のみ出力に対応しました。

《随時》

◇会計連動設定

仕訳転送済みの場合に読込元/転送先となる連動先領域を変更できるようにしました。
連動先領域のリカバリなどによりデータベース名が変更された場合に利用します。

◇仕訳データの作成

仕訳作成時に固定資産科目や資産区分で資産を絞り込みできるようになりました。

互換性に関する変更点

◇データ領域の更新について

データ領域のバージョンを「4.40」に更新しました。
下記のデータのインデックスを更新しました。
・グループ企業集計用グループ内容(集計データ領域)

◇APIの変更について

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。
・資産の検索条件(バージョン「103」)
・仕訳伝票データの集計条件(バージョン「2」)